

第二十五回帝國議會衆議院種痘法案委員會議錄(速記)第四回

會議

明治四十二年三月十日午前十時五十四分開議

出席委員左ノ如シ

長

晴登君

八木

逸郎君

東條

貞平君

高山

長幸君

松野

祐次郎君

山根

正次君

出席

森田

俊左久君

内務

技師

野田

忠廣君

内務省衛生局長

窪田靜太郎君

學部省普通
事務局長

松村

茂助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

種痘法案

○委員長(長晴登君) ソレデハ開會致シマス

○八木逸郎君 文部省ノ政府委員ニ御尋シタイノデスガ、此種痘法案ノ第十五條ニ「小學校及之ニ類スル各種學校並ニ幼稚園ニ於テハ、卒業證書修業證書又ハ保育證書ニ種痘ニ關スル事項ヲ記入スヘシ、前項ノ證書ハ種痘證ト同一ノ効力ヲ有ス」トアリマス、テ之ニ關シテ他ノ條目ヲ見テ居リマスルト、種痘ノコトニ向ツテハ制裁ハヤカマシクナツテ居リマスガ、是ハ確ニ此事ハ出來マセウカ、若シ出來ナケレバ出來サナカッタラドウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(松村茂助君) 小學校並ニ各種學校ニアリマシテハ、官立公立私立トアリマス、御承知ノ通り官立ニ居ルトコロノモノハ官吏デアリマスルシ、公立ニ於キマシテハヤハリ府縣知事ガ任命スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ小學校ニ於キマシテモ小學校ニ類スル各種學校ニ於テモ同様デアリマス、是等ノモノハ若シ法律ノ命ズルトコロニ服せズ、其職務ヲ怠ツタ場合ニハ、官吏服務規律ニ依テ制裁ヲ加ヘルトカ、懲戒令ニ依テ懲戒スルトカ云フコトモ出來マスシ、公立學校職員ニ付テモヤハリ同様ノ規定ガアリマスカラ、其方デ参リマス、又私立學校ノ教員ニハ文部大臣ノ認可ヲ要スルコトニナツテ居リマスカラシテ、其認可ヲ取消シマストカ、又ハ小學校各種學校等ニ於テハ、小學校教員免許狀ヲ有スルコトト關係シテ居リマスカラ、是ハ業務ノ停止若クハ免許狀ヲ褫奪スルト云フヤウナ種々ノ制裁モ附イテ居ルモノデアリマスカラ、ヤハリ官吏、公吏が其職務上ノ義務ニ違背シタリ何カスル場合ハ、同様ノ制裁ヲ加ヘルコトが出來ル譯デアリマスカラ、強イテ此法律ニ罰則ノ規定ヲ致サズトモ、此規則ノ實行ヲスルニハムヅカシクナ役場デ手段ヲシナケレバナラズ、市町村役場ガ之ヲヤルノナラバ或時期ヲ經テカラ市町

村役場カラ取ジテ、サウシテ記入サレルト云フコトモ出來マスガ、サウビナイ例ヘバ單純ニ醫師ニ頼ンデカラニ種痘ヲシテ貴フト云フ者モ中ニアルノデゴザイマス、サウ云フ時ニハ一々醫師ニ就テ開クトカ、若クハ種痘證ヲ持ツテ來サストカ云フコトヲシナケレバナラズ、サウスルト寄留人デアルト或ハ其子供ニ分ラヌカラシテ保護者ニ就テソレヲ取寄セルトカスル

ノデ、種々ノ手數ヲ要スルト思ヒマス、ソレデ此法律ノ如クキシント確メサセヌヤウト云フノニハ、事實斯ウ云フコトヲスルト云フコトハ、非常ニ學校ノ方デハ大變ニ手間が取レヤセシカ、ソレデ是ハ斯ウ云フコトデモ書イテ置ケバ、キチント確實ニヤルト云フコトハ保證が出来マスカ否ヤ、デ元トノ其種痘證ト云フモノハ實ハ吾々ノ考デハ種痘證ト云フモノハ、詰リ一面ニ於テ必ズ取ラナケレバナラヌ、又必ズ渡サナケレバナラヌモノデアル、ソレニ付テ制裁ガ附イテ居ルト云フコトハチヨコト考ヘルトニ重ニナルヤウニ思ヒマス、サウシテソレニ向ツテハ隨分種痘シタ直グノ年デナクテ、例ヘバ時ニ依レバ此學校デハ六歳トカ、七歳トカ、八歳トカ、或ハ毎年卒業證書ニ記入シナケレバナラヌト云々所ガ、前ニ種痘證デ書イテアルノテ、之ヲ寫スト云フヤウナコトヲシテ、其間デ市町村ノ學校デ吾々ハ學校醫フシテ居ラテ知ラテ居ルカラ申上ゲマスガ、非常ニ學校ソレ自體ノコトナラバ、市町村役場若クハ一個ノ醫師ニ關係シタ聯關ヲ教員ガ精シク知ラナイ、若クハ尋ネテヤルト云フコトハ非常ニ復雜ナコトアラウト思フ、其結果トシテ法文ノ上ニ於テハキチント行ケルヤウデアルガ、事實ノ上ニサウ云フコトガ滯リナク行ケルヤ否ヤト云フヤウニシロト云フコトヲ疑フノデアリマスガ、御見込ハ如何デセウカ

○政府委員(松村茂助君) 八木君ノ御尋ニ御答致シマスガ、此種痘法ト云フモノガ愈々公布ニナリマシタ時ニハ、唯御懸念ノヤウナ點ニ付テハソレノ細カイコトデアリマスカラ、施行法ニ於テ最モ適當ナル方法ヲ規定セラル、コト、思ヒマス

○八木逸郎君 内務省カラ出ル施行法ニ於テ、サウ云フ事柄マテ書載セルコトデアルヤ否ヤ、施行法ト云ヘバ一箇所ニ集メテヤルトカ、或ハ善感トカ不善感トカ、斯ウ云フモノハ善感ニスルトカ、若クハドウトカ云フ位ノコトデハナイカト思ハレマスガ、學校ノ教員若クハ幼稚園ノ先生トカガ、施行法デ斯ウ云フ場合ニハ斯ウ云フヤウニシロト云フコトマデ、施行法デ書クノデアリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハ施行規則ニ書ク積リデアリマシテ、其規定ハ文部省ト御相談ヲシテ成ルベク手數ノ懸ラナイヤウニ、而シテ確實ニナルヤウニスル積リデアリマス

○森田俊左久君 唯今文部省ノ政府委員ノ御答辯ニ依ルト、學校ノ方ニハソレノ官吏服務規律其他ノ取締方法ガ附イテ居ルカラ制裁ハ要ラスト云フコトデアリマスガ、十九條ニ左ニ掲ゲルモノハ科料ニ處スト云フコトがアル、其保護者又ハ三條ノ義務者ハ

此罰則ヲ受ケナイト云フ意味ニナルノデアリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハ此法律バカリデハアリマセヌ、總テノ法律ニ官吏

公吏ノ處置ニ對シテハ、之ヲ矯正スルコトハ官ノ監督權アルカラ、ソレニ對シテハ罰則ヲ加ヘナイト云フコトガ一般ノ制度ニナツテ居リマス、ソレ故ニ此本條ノ適用ヲ受ルモノハ官吏公吏テナイ方ノ側ニアリマス

○委員長(長晴登君) 此第十一條ノ第二項ニ、種痘證ヲ交付スベシトアル、此種痘證ハドレニテモ交付スルノデアルトスレバ、第十五條ニ又種痘證ト同一ノ効力ヲ有スル種痘證ガ出ルヤウナ勘定デアルガ、是ハサウ云フ一重ニナルノデスカル種痘證ガ出ルヤウナ勘定デアルガ、是ハサウ云フ一重ニナルノデスカル

○政府委員(窪田靜太郎君) 是ハ學校ニ行クノモアリ、行カヌノモアリマスカラ、一體ニ市町村ニ施行シタ種痘ニ對シテハ十一條ニ依テ交付スル、ソレデ尙念ノタメ第十五條ニ依テ卒業證書修業證ニ加入スルノテ一重ニナルヤウデスガ、廣く市町村ニ種痘ヲ受ケタモノニ付テハ十五條ヲ適用スル積リテアリマス、其他ノ場合ニ於テ種痘ヲ受ケタモノハ修業證書ナリ、卒業證書ニ書イテ證明スルノデアリマス

○委員長(長晴登君) 唯今ノデハ日本ノ普通教育ト云フモノハ、大ニ發達シテ皆就學スルコトニナツテ居ル、就學ノ比例ハ「プロセント」デ八十臺九十臺ニナツテ居ルカラ、第二期ノ種痘ハ殆ド學齡兒童ニ最モ多イノデアリマスカラ、日曜トカ其他ノ時期ニ於テ學校デヤルヨリ、八十五條ニ依テヤツテ之ニ漏レタモノハ十一條ニ依テヤツテ宜カラウト思ヒマスガ、是デ見ルトニ重ノ手數が懸リハセヌカ、ドチラが便宜デアルカト云フコトニ付テ私ニ了解が出來サヘスレバ宜イデスガ、其邊ヲ伺ヒタ

○八木逸郎君 唯今ノ説明デハ學校ニ種痘ヲシタモノニハ、修業證書ニ書イテ置ケバソレデ間ニ合フト云フノデアリマスガ、所ニテ之ヲ施行スルニ第一期ニ於テハ幼稚園トカ幼稚園トカ云フコトハ蛇足ノ文字アル、其他ノ方ニハ定期種痘ニ於テナイ筈デアル、今ノ御答辯ト少シ違フヤウデアリマスガ、序ニ長君へ御答ト同時ニ御答ヘト願ヒタ

○政府委員(窪田靜太郎君) 種痘證ハ一期ニモ與ヘルシ一期ニモ與ヘルシ、又學校ニ出ル者ニモ出ナイ者ニモ必要デアリマス、原則トシテ十一條ナリ十二條ニ種痘證ヲ渡スコトニ原則トシテ置ク方が宜カラウト思ヒテ居ルノデス、第二期種痘ノ時ハ便宜上學校デモ種痘證書ヲ與ヘルシ、市町村ニモヤリマスガ、卒業證書ヘ種痘證ヲ持ヘテ濟マシテシマウト云フ便法ヲ採ッタ、法律ノ規定トシテハヤハリ種痘證ノ一期ニ限ルモノデモアリマセヌカラ、原則トシテ種痘證ト云フ方ニ規定シテ置イタ方が宜カラウト思ヒテ居ルノデアリマス、又幼稚園ニ付テ御尋デゴザイマスガ、一期ノ種痘ニ付キマシテモ幼稚園ノ保育證書ニ書イテ置ク方が便利デアラウト云フノデ、ヤハリ是ヘ併セテ入レテアルノデアリマス

○委員長(長晴登君) ソレナラバ尙更ノ話デスガ、私モ一期ニスルノハ幾ド今ノトコロ就學不就學ト云フヤウナ事モ、時々町村役場ノ仕事ニナツテ居ル、學校ノ方ハ學務委員トカ何トカガアツテ就學が分ヅテ居ル、サウスルト學校ニ入ラス者ニ對シテ市町村ニ間ニ合フト云フコトニナル、ソレナラバ尙更ノ話デスガ、私モ一期ニスルノハ幾ド今ノトコロ渡サヌデ宜イト云フ御意味ニナレバ、ヤハリソレデ差支ナイノデアリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 種痘證書ト同一ノ効力ヲ有スト云ヘバ、種痘證ト見

做スト云フノデアリマス、一方ニ種痘證ヲ交付スベシトアル、此交付スベシトアルニ對シ同一ノ効力ヲ有スル種痘證トシテ卒業證書ナリ、種痘證書ヲ渡シテ差支ナイト云フコトハ分ル積リテアリマス

○八木逸郎君 其序ニ御聽キシマス、先程仰シヤルノニ學校ニスルヤウナ時ハ種痘證ヲ渡サヌデ間ニ合フト云フ御話ニ聞キマシタガ、サウ云フ場合ハ種痘證ハ市町村カラ渡スノガ原則ニナツテ居ル、然ルニ同一ノ効力ト此處ニ書イテアリマスレバ、渡サヌデモ宜イコトニナリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 學校ノ生徒ニ付キマシテハ、特ニ與ヘナイノデアリマスガ、同一ノ効力ヲ有スルノデアリマス

○政府委員(松村茂助君) 此十五條ノ規定シテアリマス證書ニアリマスガ、是ハ學校ニ必ズヤラナケレバナラヌト云フコトニ成ツテ居ラス、ヤルコトヲ得トアツテ適宜ニヤルコトニナツテ居リマスカラ、ヤハリ衛生局長カラ御答ニナツテ通り、前ノ方ヲ原則トシテ置イテ戴カヌト、學校ノ方ニ困ルト思ヒマス、與フル時分ニハ必ズ置クト云フコトニ成ルノデアリマス

○委員長(長晴登君) 第二條ニ掲ゲル者ニ對シテハ、斯ウナツテ居リマス「種痘ヲ受ケシメ又ハ其保護者ヲシテ其義務ヲ履行セシムヘン」即チ自分ニ受ケシメサセル若クハ保護者ニ對シテ命令ヲ以テ義務ヲ履行サセヨト云フ責任者ニナツテ居ルカラ、之ヲ得ルト云フ意味ニハ二條ノ方ハ聞ヘヌノデアツテ、而シテ第三條ニ於テ是ダケノ義務ヲ負フテ居ル權利ヲ有シテ居ルト云フコトニナツテ居ラヌト云フ法文ニナツテ居

○政府委員(窪田靜太郎君) 種痘ヲ受ケサセルコトニ付テハサウデアリマスガ、今文部省ノ云云フ如ク修業證書ノコトニアリマスト、ソレハ必ズヤルコトニナツテ居ラス、卒業證書ハ必ズヤルコトニナツテ居ルガ、修業證書保育證書ハ必ズヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ラス、併シ多クノ學校ニハヤツテ居リマスガ

○委員長(長晴登君) ソレハサウナラス、十五條ノ第一ニ上ノ事ヲ書イテ種痘ニ關スル事項ヲ記入スベシト命令シテアル、是ハ種痘ガ濟マヌトカ記入スル事が命令シテ關スルト云フコトハ、關係シタト云フ意味ニアリマス、種痘ヲ猶豫シタト云フ事モ書カナケレバナラヌ、又猶豫シタノハ猶豫シタケノ事項ヲ書カナケレバ、此法文ニ適合シナイナレバナラヌ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハサウデアリマスガ、修業證書保育證書ト云フモノハ必ズヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、一方ノ文部省ノ證書ニ關スル規定ニ依テ定ツテ居ル、ソレヲヤル以上ハソレヘ以テ行ツテ書入レルト云フ譯ニアリマス

○八木逸郎君 前回ニ於ケル政府委員ノ御答辯ニ依リマスト、能ク種痘證ハ紛失シ易イカラ、斯ウヤツテ置クト後トテ見テモ分ルト云フコトデ、今又此種痘證ハヤラヌデモ學校ノ修業證テ澤山ニアル、斯ウ云フト先キノ答ト矛盾スルノデアリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハ決シテ矛盾シテ居ラス積リテアリマス、種痘證ト云フモノハツマリ其時バカリデアル、種痘證ヲ渡スト云フ場合モアル、即チ一期ノ種痘證ノ如キ必ズ渡サンケレバナラヌケレドモ、サウシテ仕惡イカラ、是ハ幼稚園ノ證書ニ書イテアレバソレガ後ニ能ク分ル、ソレカラ又修業證書ナドヲ渡サヌヤウナ學校ニ於キマシテハ、

ク、サウスルト種痘證書ヲ失ツテモ卒業證書デ分ルト云フコトニナリマスカラ、大變保存

上都合ガ宜シ、併シ修業證書ヲヤラヌ場合ニハ種痘證書ヲ有ツテ居ルヨリ仕方ガナイ、

學校デ修業證書ヲ渡ス場合ニ書入レテ置クが便利デ宜シ

○委員長(長晴豊君) 異議ノ御答辯ニハ「從來種痘證書ヲ交附シタルモ動モスレバ紛失輕視セラレ後日ノ取調ニ不渺不便ヲ招クヲ以テ之ヲ排シ世人ノ尤モ貴重トナセル戸籍簿及ビ學校ノ卒業證書ニ簡明ナル記載方ニヨリ濟否ヲ明了ナランムルヲ以テ最モ適當ナル方法ト信ス」斯ウ云フ風ニ言ウテ居ル、戸籍簿ハ自分ノ方ノ整理ノタメ役場ニア來ナインデス、卒業證書ヲ以テ最モ簡便ナル方法トアル、ソレナイト此問題が出ウナ譯デアリマス

○政府委員(松村茂助君) 卒業證書ハ必ず出シマス

○松野祐次郎君 チヨット政府委員ニ御尋シマスガ、種痘證ハ何レノモノニ向テモ出スコトニナルノデハゴザイマセヌカ、此規定カラ言ヘバ……

○政府委員(窪田靜太郎君) 原則トシテ總テ出スノデス——原則トシテハ總テ出シマスガ、特ニ便利ナ方法ガアッテ、學校デ修業證書ヲ出スト云フヤウナ場合ニハ、ソレデモウ現ニ種痘ヲシタ種痘證ヲ渡ストコロデアルガ、一方デ修業證書ヲ渡スノデアルカラ修業證書ヘ以テ行ツテ記載シテ置ケバ、其場合ニハ種痘證ヲ遺ラナイデモ、修業證書ヲ以テソレニ代ヘテ差支ナイ

○山根正次君 ドウカ逐條ニ移ラレタイ

○委員長(長晴登君) ドウデス——此處ニ新シク是非共聞ク必要ノコトガアルナラバ別ダケレドモ、原則ヲ此處ニ極メルガタメニ協議會ヲ開イテハドウデスカ、サウシナケレバ逐條ニ對シテ其場合ニ於テ原則ニ違フ議論ダト云フト、初メニ於テ整理スル必要ガアルカ知ラン——チヨット速記ヲ止メテ……

(此間速記中止)

○東條良平君 政府委員ニ問ヒマスガ、是ハ今ノ文部省ノ一件デハナインデス、第十六條ノ中ニハ先項ノ御答ニ依ルト學校ヤ其他ト云フモノハ、今ノ服務規律ヤ何カアリマスケレドモ、工場等ニ於テハ服務規律ノ制裁ハ無イノデアリマスガ、十六條ノミニ限ツテ特ニ制裁ノ範圍外ニ置イタノハドウ云フ意味デゴザイマセウカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 是レハ地方長官ニ是ダケノ權限ヲ與ヘルト云フコトノ規定デゴザイマスカラ、之ヲ強制シテ行ク上ニ於キマシテハ、一方デ若シ其指定ヲ聽カナケレバ罰スルト云フ地方長官ガソレニ命令ヲ付シテモ宜カラシ、又一方デ行政執行法ニ依ツテ之ヲ強制スル途モアリマスカラ、法律ノ方デハ別ニ之ニ對シテハ制裁ヲ設ケナイデ、地方長官ニ是ダケノ權限ヲ與ヘルト云フ、此條文ガ無ケレバ、地方長官ガ斯ウ云フコトハ命ズルコトハ出來ヌデスカラ

○東條良平君 成程唯今ノ御答ニ工場、育兒院等ニ對シテハソレハ宜シウゴザイマセウガ、特ニ幾ツモ幾ツモ學校ノ條項ヲ置イアリマスガ、又此處へ學校ト云フコトヲ入れマシタノハ何カ又他ニ深イ意味デモアルノデスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 是ハ學校ノ義務ト致シマシテハ、詰リ此二條ノ種痘ヲ

施行セシメルガ、保護ノ義務ヲ履行セシムルカト云フノデアッテ、丁度二條ノ保護者ト先づ類似シタ準保護者ノ如キ義務ヲ負フノデス、即チ種痘ヲ子供ニ受ケサセルト云フ其義務ヲ負フノデアルニ條ハソレデアルカラニ條ニ依テハ例ヘバ市立學校ニ於キマシテモ、

市立學校ノ首長ト云フモノハ、其生徒ヲシテ市町村ノ種痘ブスル所ヘヤレバソレア差支ナイ譯ニナルノデス、ニ條ノ義務トシテハ、然ルトコロガ十六條デハモウ一步進メテサウ云フ場合ニ例ヘバ私立ノ——私ノ學校、育兒院ト云フモノニ對シテ、唯其兒童ニ種痘ヲ受ケサレバ、宜イト云フノミナラズ、學校自ラデ其費用ヲ以テ醫者ヲ雇フテ、サウシテ痘苗ヲ買入レテ種痘フルト云フコトノ事柄マテ學校ニヤラセヤウ、其方が便利アアル、現ニ工場ノ如キハ確ニサウ云フコトが便利ナト云フコトハ多イデアリマスガ、即チ例ヘバ工場ノ方デ之ヲ説明致シマスレバ、鐘ヶ淵ノ工場ガアル、其處ニ多數ノ寄宿舎ニ餘計子供ヲ置イテ居ルガ、此三條ノ方ノ義務トシテハ其鐘ヶ淵工場ノ義務ト云フモノハ、子供ヲ詰リ其村ノ種痘所ヘヤレバ宜シト云フコトモ義務ニ止マルノデアリマスガ、ソレデ又彼ノ工場ノ多數ノモノヲ村ニ費用ヲ出シテ、サウシテ一々ソレヲ種痘スルト云フコトハ小サナ村ナドニ隨分迷惑ナ場合ガアル、其場合ニハサウ云フ工場ナラ工場自ラ工場自ラ医者ヲ雇ヒ、痘苗ヲ買入レテヤラスルト云フタメニ、地方長官ガソレ工場ヘ命ズルコトが出來ル、即チ其結果ハ此處ニ書イテアル、其費用ヲ以テ醫師ヲ雇入レ痘苗ヲ整ヘテ、種痘ヲスルト云フコトマテ工場ニサセルト云フ意味ニナル、ソレガ丁度學校ニ付テモサウ云フ同ジヤウナ風ノ取扱ヲスル必要ヲ認メル場合ガアラウト云フ……

○東條良平君 第二條ニ「左ニ掲クル者ハ未成年ノ生徒院生若クハ之ニ準スヘキ者又ハ未成年者ノ寄寓者ヲシテ種痘ヲ受ケシメ又ハ其保護者ヲシテ其義務ヲ履行セシムヘシ」其第一ニ向テ「學校育兒院トアルノデスガ、詰リ此所デソレダケノコトハドウシテモ決行サセロ、又一方デハ工場其他ハ之ヲ決行スベキ義務ヲ有シテ居ル、其上ヘ以テ尙學校ヘ向テ強制的ニ種痘ヲセルコトヲ施行スルコトヲ命ズルコトヲ得ルト云フノハ、大分重複ノヤウニ見エマスガ、特ニ學校ニ對シテハ第二條ハ實際行ハレナイト云フ御考ガアツテ其上ニモト云フノデ十六條ヘ學校ヲ御加ヘニナタノデスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 簡單ニ約メテ申シマスルト、三條ノ義務ト云フモノハ詰リ、此市町村ノ施行スル所ノ種痘所ヘ連レテ行ツテ種痘ヲシテ貫ハスト云フダケノ義務ニナル、然ルニ此十六條ノ方ハモウ一ツ進シテ、學校地方長官カラ命令シテ學校ト認メラレタモノハ種痘醫ヲ雇フテ、自己ノ費用ヲ以テ種痘シナケレバナラヌト云フヤウナ、市町村デヤルモノヲ學校ノ方ニヤラセルト云フコトが出來ルゾト云フ條文デアリマス

○松野祐次郎君 第十條ノ種痘ヲ怠リタル者、定期外ニ種痘ヲ受ケタルトキハ第一條第二條ノ場合ヲ除クノ外其種痘ハ其ノ怠リタル定期種痘ト看做スト云フコトが書イテアルノデアリマスガ、此ノ定期種痘ト見做スト云フコトが此處ニ書イテアルノハ、此法律ノ上カラハドウ云フ利益ガアル爲ニ、斯ウ云フ定期種痘ト看做スト云フコトが書イテアルノデアリマセウカ、要スルニ怠リタル定期種痘ト云フコトノ爲メニ、此法律ノ上デハドウ云フ制裁ガアルトカ、或

ハ其結果ガドウナルト云フヤウナコトハドウ云フ御見込デスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハ其結果トシテ單純ニ一ツバカリデアリマセヌ、イロイロナ結果ニナルノデアリマスガ、其中ノ一つ申シマスレバ、例ヘバ初種ヲ受ケナイモノ

が五歳ニナシテ分ル、ソコデ五歳デ種痘ヲ受ケタト云フコトが定期外ノ種痘デアル、其場合ニハソレハ本來ナラバ第一期ヲ受テ居ルベキモノデアル、其第一期ヲ怠タノデ、ソレヲ五歳デ受ケタノハ第一期ノ種痘ト看做スノデアルト云フコトニナル、サウスルト今度ハ其結果トシテ第一期ノ種痘ハ、其人ガ受ケタカラ戸籍簿ニモ種痘ガ済ンダト云フ事項が加ヘラレ、ケレドモ第二期ニナレバ又シナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマス、第一條第二項ノ方デ除ク場合ト書キマシタノハ、是ハ例ヘバ八歳デ受ケル一期ヲ受ケナイモノガ八歳ニナシテ受ケタト云フ場合デゴザイマスト、ソレハ第一條ノ二項ノ定期前二年善感シタト云フノデ、ソレガ善感シタ場合ニハ是ハ十歳ニ濟ムベキモノヲ八歳デ済ンダノデアルカラ、定期前二箇年デアル、ソレハ第二期ノ種痘ト看做スノデアル、ソレデナケレバ一期ガ済ンダモノト見做ス、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス

○松野祐次郎君 尚政府委員ニ御尋シマスガ、十九條ニ左ニ掲グ者ハ科料ニ處スト云フコトガアルカ、其科料ノ高ノ記載ノナインハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 科料ハ刑法ノ方ニ二十圓未満ト云フコトニ考ヘテ居リマス、其通り二十圓未満ノ科料ニ處スルト云フ積リデアリマスカラ、別ニ科料ノ高ヲ何程ト書キマセヌノデス

○松野祐次郎君 此法律ノ上デモ他ノ條文ノ所ニハ、或ハ十圓以下トカ、五圓以下トカ云フコトが書イテアルニ、第十九條ダケニ單ニ科料ト云フコトニ御書キニナシタノハ、詰リ二十圓以下トスウ云フ御考ナノデスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 二十圓未満ト云フ意味ニナルノデス、科料ト云フモノハ刑法デ定シテ居リマスカラ、其通りモノヲヤルノデスカラ、此處ヘハ書カナイデモ宜カラウト云フノデ、サウシマシタノデスガ、科料ノミデナク罰金ニシテモ極端マデヤルト云フ必要ハナノデスカラ、五十圓以下ト限リテ二十圓ノ如キハ十圓以下トシテアリマス、極端マデヤラヌデモ宜カラウト云フ、ソレダケノ趣意デゴザイマス

○東條良平君 ドウデス逐條討議ニ移リマシテハ……

○高山長幸君 此十五條ノ所ニ卒業證書修業證書、又ハ保育證書ニ種痘ニ關スル事項ヲ記入スペシトアルノハ、先日政府委員ノ御答辯ニ依リマスト云フト、種痘證書ト云フモノハ紛失シ易イモノデアルカラ、卒業證書修業證書ニソレヲ記シテ置ク方が極く便利デアルト云フヤウニ聞キマシタ、種痘證書ハ紛失スルコトガ多ク、卒業證書若クハ修業證書ハ紛失シナイト斯ウ云フヤウナ御話デ、サウ云フヤウニ種痘シタコトヲ卒業證書及修業證書等ニ記シテ置イタナラ便利デアラウト云フヤウナ御話モアリマシタガ、ソレデハ其學校ニ於テ取扱上非常ニ混雜ヲ來スノデアラウト云フコトヲ想像スルモノデゴザイマスガ、此當局者ノ御考デハ種痘證書ヲ紛失シ易イト云フ理由ニ於テ、私ハドウモ解釋が出來ナイ、斯ウ云フ種痘法案ト云フモノナドヲ出シマシテ、サウシテ保護者ノ如キ十分ニ種痘セシメナケレバナラスト云フヤウナ義務ヲ負ハセ、且ツソレヲ履行シナイモノニ對シテハソレノ又制裁ヲ置キマシテ、科料トカ何トカ云フヤウナ御話モアリマシタガ、ソレデ云フヤウナ考モ持テ居ルノデアリマスガ、此種痘證書ヲ必ズ輕ク見テ居ツテ、之ヲ容易ニ紛失スルヤウナコトガアラト云フヤウナコトハ、自然保護者ノ頭ニ浮

ンデ來ルデアラウト思ヒマスルガ、當局者ノ政府委員ノ方デハ、ヤハリ此種痘證書ト云フモノハ、ソンナニ紛失シ易イモノデアルカラ、是非之ヲ本法ニ依テ卒業證書若クハ修業證書ノ如キニ記載シナケレバナラスト云フ必要ヲ認メルノデアリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) 此種痘證書ハ大切ナモノデアッテ、之ニ依テ詰リ種痘は實際ニハナカクムツカシイモノデアルカラ、他ニ方法ガ無ケレバソレモマア仕方ガナイトシテ、種痘證書ノ保存ト云フヤウナモノデ制裁ヲ附シテ、ソレデマア満足シテ置クヨリ仕方がナインデアリマスカラ、多クノ場合ニ學校ニハ卒業證書ヲ必ズ出スシ、尙必ズ出ナイデモ修業證書ハ出シテ居ルト云フ事實ガアルカラ、之ヲ以テ同一ノ効力アルモノトシテ取扱フナラバ、行政上ニ於テモ便利デアラウト考ヘテ、誤シテ種痘證書ヲ失ッタ云フコトニナシテモ、何故失ッタ云フテ咎メラレルト云フコトモ、此卒業證書ヲ持シテ居レバソレヲ出セバ宜イト云フコトニナルカラ、大變ニ保護者ノ方ニモ便宜ヲ感ズルデアラウト云フコトカラ、他ニ斯ウ云フ卒業證書ト云フヤウナ方法ガナケレバ仕方ガナインデゴザイマスガ、方法ガアリマスカラ併セテ之ヲ採用致シテ參フナラバ、一體ニ便利デアラウ、斯ウ云フ趣意デゴザイマスノデ、是ハ是非斯ウ云フ風ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス

(「ドウデス逐條ニ入シテハ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 逐條審議ハ午後ニシテ協議ヲシテ見タイ、速記ヲ止メテ
(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 食後ニシマスカ、直グシマスカ

○委員長(長晴登君) ソレデハ午前ハ協議會ニシテ、午後一時カラ會ヲ開キマス
午前十一時四十一分休憩

○委員長(長晴登君) 是ヨリ開會致シマス、是ヨリ討論ニ移ルノデスガ、ソレニ付テハ逐條審議ノ方ガ宜カラウト思ヒマスケレドモ、是ダケノ法案ニアリマスカラ逐條審議ヲシテ居テモ、更ニ大體ニ付テノ御意見ガナイトモ限ラレマセヌカラ、一應逐條審議ヲ終シテ其後ニ尙大體ニ付テ、政府ニ對シテ施行ノ方法及其他ノコトニ付テ御話ガアルナラバ、便宜ノタメニ逐條審議ノアトデ總體議ヲ開キマスカラ、唯今ノトコロハ逐條審議ヲ以テ一旦結了スル方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、御異存ガナケレバ其通り致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) ソレデハ逐條審議ニ致シマス、第一條

○東條良平君 第一條ノ「種痘ハ左ノ定期ニ於テ之ヲ行フヘシ」トアル「ベシ」二字ヲ削リマス、其意味ハ町村ニ於テモ之ヲ行フ又保護者ニ於テモ之ヲ行フ兩々ノ意味ヲは含マセルガタメニ單ニ之ヲ「行フ」トスル、ソレカラ第一項ノ「出生ノ翌年十一月」トアルノヲ「出生ノ」三字ヲ除イテ「十一月」ヲ「六月」ト改メマス、末項「定期前二年以内ニ善感シタル種痘ハ前項ノ種痘ト看做ス」トアルノヲ「定期前一年以内ニ善感シタル種痘ハ

第二期ノ種痘ト看做ス「ト改メル「前項」ヲ除イテ「第二期」ノ二字ヲ加ヘル
○委員長(長晴登君) 當席ヨリ御賛成ヲシテ置キマス、其意味ハ第一條ノ「種痘ハ
左ノ定期ニ於テ之ヲ行フヘシ」ヲ「行フ」トスルノハ是ハ政府委員ノ説明ニ依テ見レバ、市
町村ノミニ之ヲ行ハシムル意味デナクシテ、全般ニ之ヲ行フ方が宜シイ、行フノヲ原則ト
極メタト云フノアルカラシテ、之ヲ「行フ」ト云フコトニ修正スル方が穩當デアラウト思ヒ
マスカラ、同意ヲ致シマス、而シテ又第二項ノ修正ノ「出生ノ」二字ヲ削ルト云フノハ、
三項ニモ不善感ナルトキハ翌年何月ト云フコトニナシテ居ルカラ、統一ヲ付ケルタメ又之
ヲ明瞭ニスルガ爲メニ、翌年六月ト之ヲ直ス方ガ明瞭ニシテ、且ツ又法文モ統一シテ來
ルカラ此方が宜カラウト思ヒテ御賛成ヲ致シマス、又「前項ノ種痘ト見做ス」ト云フノヲ
「第一期ノ種痘ト見做ス」ト云フノハ是ハ文字ノ上ニ明瞭ニナシテ來ルカラ、即チ第二項
ニ對スル文句デハナクシテ第二項ニ對スル文句デアルカラ、是ハ表題ニアル如ク第二期
ト云フ文字ヲ使テ「第一期ノ種痘ト看做ス」ト云フコトが明瞭ニシテ適切デアルカラ其
方ニ御賛成ヲ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 御異存ガナケレバ第一條ハ東條君ノ修正說ニ決定致シマス、
第二條第三條ヲ合シテ議題ニ掛ケルコトニシテハ如何デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○山根正次君 第一條ニ對シテハ是デ宜イト思ヒマスガ、第二條ノ中テ「又ハ」ノ下ノ
「其ノ保護者ヲシテ」ト云フ第一項ニアリマス「其ノ」ト云フコトヲ削ル、ソレハモノ分ッテ
居ルカラ「其ノ」ト云フ字ハ入ラヌ其外ニハ此條文ニハ直スモノハアリマセス

○委員長(長晴登君) 御異議ガアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) ソレナラバ山根君ノ御修正說ニ決定致シマス、第四條ヨリシ
テ第九條マヂ合シテ議シテハ如何デゴザイマス

○委員長(長晴登君) 御異存ガナケレバサウ致シマス
○八木逸郎君 第四條ノ「一月以内ニ種痘ヲ受ケシメ又ハ其ノ」ト云フ「其ノ」ヲ除ク
ト云フ說ヲ提出致シマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 御修正說ニ御異議ガナイト認メマス、第十條

○八木逸郎君 第十條ハ斯ウ云フ文句ニ修正シテ置キタイ「種痘ヲ愈リタル者又ハ種
痘ヲ受ケタル證跡不明ナル者ノ定期外ニ受ケタル種痘ハ第一條第二項ノ場合ヲ除クノ
外其ノ定期種痘ト看做ス」第二項ハ削ルトシマス

○委員長(長晴登君) 私ハ當席ヨリ之ヲ御賛成シテ置キマス、第十條ノ八木君ノ
御修正說ハ意味ニ於テ變リハナクシテ、而シテ文字ノ上ニ於テ明瞭ニナシテ分リ易イカラ
シテ、其意味ヲ以テ御賛成シマス、第二期ノ場合ニ於テハ即チ第二項ノ場合ニ於テハ第
二期ノ種痘ヲ受ケタル者ニ對シテハ絶對的ニ第一期ノ種痘ヲナスコトハ出來ヌモノデア

ルカラシテ、出來ヌモノニ對シテ之ヲ終リタルモノト云フ蛇足ヲ添ヘル必要ガアリマセヌ、
併ナガラ此法ヲ執行スル上ニ取ツテ種々ノ手續上明瞭ナラシムルト云フコトニ付テハ、是
ハ施行細則等ニ於テ當局者ノ詰リ取扱ヲ便宜ニスル方法ハ施行細則ニ於テ之ヲ極メ
レバ宜シノデアツ、之ヲ法規上出來ヌモノヲ以テ看做スト云フコトノ必要ハナイト思ヒ
マスカラシテ、其意味ヲ以テ八木君ニ御賛成ヲ致シマス——八木君ノ御修正說ニ御
異議ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 第十一條ヨリ第十四條ヲ議題ト致シマス

○八木逸郎君 此第十一條ノ第二項ノ所デ「市町村長ハ前項ノ検診ヲ經タル者ニ
種痘證」トアルノヲ「濟」ト云フ字ヲ加エテ「種痘濟證ヲ交付ス」シトスウ修正致シマ
ス、第十四條ノ所デ「保護者又ハ第三條ノ義務者ハ」ノ下ニ「種痘濟證又ハ」ト云フ
六字ヲ加ヘマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長(長晴登君) 私ハ當席ヨリ御賛成致シマス、其意味ハ種痘證ハ醫師ノ作成
シテ、而シテ之ヲ交付スルモノデアリマスカラシテ、此第十一條ノ第一項ノ場合ニ於テハ
市町村長ノ責任デアルカラ、市町村長ハ即チ醫師トハ違フノデアルカラ、之ニ對シテハ
種痘が濟シダト云フコトノ醫師ノ證明ヲ待シテ、然ル後ニ種痘濟證ヲ交付スルデアルカ
ラ、所謂是ハ定義ア明確ニシテ置ク必要ガアルト思ヒマスカラ、御賛成ヲ致シマス

○東條良平君 私ハ此場合ニ於テ政府ノ出シタ十二條ノ第一項、之ヲ政府案ニ贊
成スルニ付テハ一言述ベテ置カナケレバナラヌ、政府案ハ此定義ヲ下シ醫師が定期種痘
ヲ施シタルモノヲ検診シタルトキト云フ意味ハ、自己ガ種痘ヲシタトコロノモノヲ検診シタ
意味ダト言ハレルガ、吾々ガ此第十二條ヲ贊成スルノ意味ハ、此定義ヲ政府委員トハ
異ニシテ贊成スルノデス、ソレハ醫者ハ自己ノ種痘シタ兒童ト及他ノ醫者ハ種痘ヲシタ
場合トヲ問ハズ、總テ定期ノ種痘ヲ醫師が検診シタ場合ト云フ意味ニ於テ同意ヲ表シ
マスカラ、是ハ一言申シテ置キマス

○委員長(長晴登君) 政府案ニ御同意ヲ致シマス、此法文ヲ直サズシテ御説明ト達
フヤウナ場合ニ於テ、多少一致シテ居ラヌケレバナラムト思フ、今東條君ノヤウニ解釋シ
テ置ク方が廣クシテ、又サウシテ置カナケレバ都合ノ惡イコトガナイトモ限リマセスカラ、今
ノ解釋ニ依シテ此法文ヲ拵ヘテ置クト云フコトニ付テハ——其事柄ノ善惡ト云フコトニ
付テハ——其定義ダケニ對シテハ其積リデ御反對ナサルトモドウトモ爲スツテ下サルヤウ
ニ、此場合ニ申上ゲテ置キマス

○政府委員(窪田靜太郎君) 其東條君ノ御解釋ノ如クニ解釋シテモ差支ナカラウト
思ヒマスカラ、御賛成シテ置キマス

○委員長(長晴登君) 八木君ノ修正說ニ御異論ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長（長晴登君） ソレデハ八木君ノ修正說、東條君ノ解釋ノ意味ヲ以テ決定致シマス、第十五條

○東條良平君 此第十五條ハ削除ヲ致シマスル、其理由ハ他ノ條項ニ或ハ種痘證、種痘證ヲ與ヘ、又ハ此義務者ヲシテ必ズヤラセルト云フコトニ規定シテアリマスカラ、此條項ハ置ク必要ガナイ、學校等ニ於テモ幾多ノ手數ヲ要スル事柄デスカラ、先づ是ハ削除スルガ適當ナリト考ヘマス

○委員長（長晴登君） 私ハ是ニ對シテ贊成ヲ致シマスルガ、贊成ノ意見ニ付テハ尙附加ヘテ私ハ申シタイ、種痘證、及種痘濟證ヲ與ヘテ居ルカラ、更ニ蛇足ヲ添ヘル必要ガナイト云フコトニ付テハ、東條君ノ言ハレル通り是等ノ手數ヲ掛ケテヤル必要ガナイト云フコトニ付テモ、是モ其通リデアル、又私ハ卒業證書若クハ修業證書若クハ保育證書ウ云フモノハ、全体ニ於テ卒業證書のモノデアルト解釋シテ、而シテ此證書ノ性質ノ上ニ於テ斯様ナ者ニ責任ヲ負ハセルト云フ必要ガナイ、政府ニ於テハ種痘證ノ如キモノハ紛失シ易イモノデアル、然ルニ此免許狀ノ如キモノハ之ヲ注意シテ保管スルノデアルト云フコトヲ言ハル、ケレドモ、此種痘ニ關スルトコロノモノハ兒童若クハ未成年者ガ自分デ其責任ヲ負フト云フコトが原則デナクシテ、其親權者保護者若クハ學校ヲ扱フトコロノ、市町村長ト云フヤウナモノニ責任ガアルノデアツ、此卒業證書等ノ如キハ其兒童ニ交付スルモノデ、又兒童が自ラ保管スルモノデアツ、此種痘ニ關スルコトハ、ソレニ保護サセル重イ義務ヲ負セテシマツテ、兒童ノ責任ト今ノ兒童ノ責任者ト云フモノヲ明ラカニ區別シテ置ク必用モアルシ、且又學校ニ對シテ此年齡ノ上ニ於テ轉學若クハ轉校等ノコトガナイトハ限ラヌ、政府案ニ於テハ大分ニ記載漏れノ關係モナイトハ限リマセカラ、却テ紛雜ヲ來シテ、ソレダケニ手數ノ効力ガナイト思ヒマスカラシテ、東條君ニ御贊成ヲ致ス次第ゴザイマス

○山根正次君 唯今此削除說ニ付テ東條君カラ御申述デアリマスガ、之ニ長君ノ御贊成モアリマスルガ、私ハ此條項ハ存シテ置イテモ差支ナイモノト思ヒマス、何故カト云フト便利上卒業證書ヲ見レバソレガ直グ分ル、種痘ヲシタ云フコトガ分カルト云フコトニナルト、或ハ他ノ學校ニ行クニ付テモ今日ハ種痘ハドウデアルト云フコトヲ聞クコトニナクテ居リマスカラ、證書ヲ見レバ即チ其種痘濟ノコトガ分ルノデアリマスカラ、若モ手數ガカ、ラストスレバ私ハ此方ハ置イタ方ガ、旁々證書紛失ノ場合ナドニ於テ之ヲ見セルコトが必要ニナリハセヌカト思ヒマスカラ、成ルベクハ存シテ置カレタイコトヲ希望致シマス

○政府委員（窪田靜太郎君） 本條削除ノ御說が出テ居リマスガ、本條ハ元ト保護者其他ノモノニ便利ヲ與ヘタイ、其便利ヲ與ヘル結果ハ種痘ノ濟否ト云フコトガ他日當該吏員が調査シテ參ル時ニ能ク分ルノデアルカラ、種痘普及上ニ大變ニ便ニナッテ有効デアラウト云フ趣意デ設ケマシタ、ソレハ成程種痘證ナリ種痘濟證ナリヲ與ヘマスケレドモ、併ナガラ此モノタルヤ之ヲ保存シテ置イテ當該吏員ノ請求ノ時ニ提示スル義務ハ隨分容易ノヤウデアルガ、事實其證書ヲ紛失シタトカ云フコトノ爲ニ困難ラスル場合ガアラウト思ヒマス、其場合ニ卒業證書其他ノモノニ種痘ト云フコトが書イテアルノヲ出シテ見セルト云フコトニ致セバ、ソレデ以テ義務ガ立ツト云フ規定ニ致シマスト云フト、大變ニ保護者が便利ヲ得ルデアラウト思ヒマス、是が爲ニ手數が學校ニ懸カルデアラウト云

フ御說モゴザイマスガ、是ハ致方ニ依テハ手數ヲ懸ケナイデ出來ヤウト思ヒマスノハ、各兒童ニ就テ種痘證ヲ見テ、是ハ善感デアルトカ、不善感デアルトカ云フコトハ、殆ド一定シテ居ルコトデゴザイマスカラ、是ハ一個ノ判デモ捺ヘテ置ケバ——或ハ表面ニ記入スルノが面白クナケレバ裏面ニ其判ヲ捺スト云フヤウニ、簡単ナ方法デモ出来ヤウト思ヒマスカラ、左程ニ手數が掛ラナイ、而シテ大變ニ他日官民トモニ便利デアルト云フノデ、是ハ入レタイト思ヒマス、ソレニ付テハ政府ニシテ此種痘證ニ代ヘテ此修業證書ナリ卒業證書ヲ以テ間ニ合フコトが出來ルト云フ効力ヲ認ムル以上ハ便利デアリマス、モウ一ツハ進テ町村ニ種痘ヲ致シテ種痘濟證ヲ渡スト云フ時分、一方テハ學校ヲ卒業シタ者ハ卒業證書ナリ修業證書ヲ渡スト云フノデアリマスカラ、其卒業證書ニ種痘濟トシテアル時ハ種痘濟證ハ渡サヌデモ宜カラウト云フ考カラ、此一項ニモ種痘證ト同一効力ヲ有スルト云フ斯様ナ規定ヲ設ケタノアリマス、サウシテ便宜ヲ計ラウト云フ趣意デアリマス、是ハ事實ニ於テ有効デアラウト存ジマスカラ、願クバ是ニハ御贊成下サルコトヲ希望シマス

○高山長幸君 今山根君カラ原案維持ノ說が出マシタガ、私ハ東條君ノ削除ノ方ニ贊成スルノデアリマス、都テ此條ヲ現存シテ置クハ學校ニ於テ多數ノ手數ヲ要スルノミナラズ、其効力タルヤ格別厚イ所ノ効力ハ無イト思ヒマスカラ、寧ロ斯ウ云フモノハ削ヅタ方ガ宜カラウト考ヘマス、東條君ニ贊成デアリマス

○山根正次君 私ハモウ一ツ附加ヘテ置キタイ、市町村ニ種痘スル場合ニハ學校ニ多ク出テ致スノデアリマス、サウ云フ場合ニハ必ズ御前ハシタカ誰ハシタカト教員ヨリ尋ネテ居リマスカラ、種痘ヲシタ者ハ能ク學校ニハ分ルモノデアリマスカラ、其時ニ衛生局長ノ言ハレタ如ク、判テモ捺シテ置クト別ニ不便ハナイカト思ヒマスカラ、是ハ斯ウ云フ事ニシテ置キタイ、卒業證書ヲ貰ハヌト云フ場合ニハ或ハ此證明ヲ受ケヌト云フ事が出來ルカモ知レマセヌガ、ドウカ是ハ原案ニ願ヒタノデアリマス

○委員長（長晴登君） 私ハ今山根君及窪田政府委員ノ御辯明ヲ聞イテ、益々十五條ヲ存スルノ不便ヲ感ジマシタ、何トナレバ小學校生徒ハ全部未成年者デ種痘ヲシタカシナニカト云フ概念ヲ聞クコトハ差支ヘナイケレドモ、種痘濟ヲシタ云フコトニ付テ種痘證若クハ種痘濟證ヲ存シテ證據立テナケレバ、ソレニ代ハルベキ證據ノ舉ヶヤウカナイ、若シサウデナクシテ兒童ノ話ヲ聽イテヤルト云フコトハ、未成年者ノ證言ヲ聽イテヤルト云フコトニナリマス、ソレカラ是ハ身體検查ヲスルト云フコトハ是ハ學校デナクシテ醫師ノ判定ヲ待タナケレバナラヌ、斯ウ云フ手數ヲ煩ハスコトハ無益不必要デアリマスカラ、本條ハ削除シマス

○「討論終結」ト呼フ者アリ

○委員長（長晴登君） 東條君ノ說ニ贊成ノ方ハ舉手ヲ請ヒマス

○舉手者 五名

○委員長（長晴登君） 五名デアリマス、多數デアリマス、次ハ十六條十七條ヲ議題ト致シマス

○東條良平君 異議ナシ

○委員長（長晴登君） 原案ニ決シマス、十八條ヨリ一一條及附則迄議題ニ供シ

○山根正次君 異議ナシ
○委員長（長崎登君）此場合ニ於テ痘苗配付ノコトニ付テ御異議ガアリマスレハ……

○東條良平君 私ハ實ハ此法案ヲ實施スル以上ハ、從來ト違ッテ強制種痘ト稱スベキモノデアル、此強制種痘ヲ行フトニ付イテハ政府ノ痘苗位ノモノハ無償デ配付スルトコロノ義務ヲ負フテ宜カラウト思フ、故ニ成ルベク全國ニ向ツテ各町村デ施行スル定期種痘ニ對シテハ、痘苗ノ無償配付ヲ希望スル一人ナンデス、第六條ノ次ヘ之ヲ實ハ規定シテ置キタイト思フノデアリマスガ、併ナガラ段々政府委員ノ説明モ聽キ、旁シテ見マスノニ、豫算モ既ニ議定サレテシマウシ、旁々之ニ對スル費用ハ僅カ一萬圓位アルガ、併ナガラ今日之ヲ此金ヲ出スニ付テ如何アラウカ、強チ無償配付ニ全然不同意ト云フ譯ナナイガ此點ニ付テハ何トモ申上兼ネルコトデアル、又モウツ云フテ置カナケレバナラヌハ大體異議ハナイケレドモ、本年ハ見合セテ置カナケレバナラヌ、豫算ノ都合モアル、其見合セテ置カナケレバナラヌト云フコトハ今一ツハ何デアルカト云フト、痘苗ノ不善感ト善感デ此痘苗ノ種類ニ依ツテ善ク感ズルノト、感ジノ惡ルイトニ種アルト云フコトハ今日掩フベカラザル事デアツテ、政府委員ノ辯明ニ依ルト傳染病研究所デ作ル所ノ痘苗ト云フモノハ多數傳デアツテ、今日デハ二百有餘傳ニ成ツテ居ルガ、隨分昨年ナドハ成績ガ良カタト云フコトデアル、ソレデ民間デ指ヘルモノハ極ク傳數ノ少イモノデ、漸ク四傳カ五傳クラ井ニ止マルノデアリマスガ、此感染ノ善惡ハハッキリ分ラヌト云フヤウナ御答ニアツタ、アツタガ民間ノ實際ニ從事シテ居ル多クノ醫者ノ報告、其他ノ報告ニ依リマスト傳染病研究所デ製シマスル「痘苗ハ民間デ今日製シテ居ル四傳カ五傳ノ痘苗ト比較シテ見マスノニドウシテモ多數傳ノ方ハ主モニ感ジガ惡イ、回數ノ少イ方が感ジガ宜イト云フコトハ、一般ノ事實デアルト云フコトハ吾々モ認メテ居ル、直接吾々其事ニ從事シテ確信シテ居ルノデス、ソレガタメ政府委員ニ傳染病研究所デハ此比較試験ヲシテ居ルカ、或ハシタカト云フコトハ居ル、此シタト云フ答デアル、併シ是ハ私ハ當ニナラヌ、政府委員ノ云フコトガ何ニ依ツテスルカ、他ノ動物ニ依ツテ比較試験シテ居ルカモ知レヌガ、傳染病研究所カラ今出ス痘苗ハ總ニ二百傳以上ト云フ割合デ、最初ヤリ始メテ今日迄ヤツテ居ル品デアツテ、其他三人類ノ生體ニ向ツテ五傳ヤ三傳ノ痘苗ヲ他ニ二百傳以上ノモノト比較シテ、ドチラガ感ジガ宜イカト云フコトハ見タト云フコトハ、私ハマダ聞カヌ事デアルカラ、或ハサウニ云フ事ハナサラスカト思フ、又過日モ同業者ノ貴族院議員ニ會ツタ場合ガアツタ、此人ノ說ニ據リマスト内務省ハ傳染病研究所デ命令スル權ガアリ、監督スル權ガアルニモ拘ラズ、命令的ニ比較サセルコトが出來ナイ彼處ハ治外法權ノヤウナ具合ニナツテ居ルノデアルカラ、幾ラ内務省デ言フテモ、向フハ向フデ宜イシテ確信シテ居ルカラ、決シテ内務省ニ云フヤウニ比較試験ヲスル氣遣ハナイト云フコトヲ言ハレタノデアル、併シ是ハ其貴族院議員ノ自己ノ考デアルカラ、其眞偽ハ信用ハセヌノデアリマスガ、此際ドウシテモ一年間位ハ此民間デ指ヘル回數ノ少ナイコロノ痘苗ト、又回數ノ多イ傳染病研究所デ製造スルガ如キ痘苗ヲ、民間ニ於テ實物ニ當ツテ一ツ比較試験ヲシテ見ルノモ、將來ニ於ケル痘苗製造上ニ於ケル學術上ノ經驗ノタメニモ、頗ル裨益アルコト思ヒマス、此一個ノ理由ニ依ツテ先づ本年ダケハ此無償

配付ト云フコトヲ見合セテ、置カウト思ヒマスルノデ、一年モヤツテ見タナラバドチラガ宜イカト云フコトガ必ず分ルデアラウシ、又來年度ノ衆議院ノ開會マニハ豫算等ニ於テモ、政府委員モ果シテ無償配付ニ御同意デアルナラバ相當ナ手續ヲ經テ是ガ支出ノ途等モ攻究シテ貫ヒタイ、又來年豫算委員會デモ開カレタ場合ニ於テ、若シ政府ガヤラヌ配付スルトコロノ義務ヲ負フテ宜カラウト思フ、故ニ成ルベク全國ニ向ツテ各町村デ施行スル定期種痘ニ對シテハ、痘苗ノ無償配付ヲ希望スル一人ナンデス、第六條ノ次ヘ之ヲ實ハ規定シテ置キタイト思フノデアリマスガ、併ナガラ段々政府委員ノ説明モ聽キ、旁シテ見マスノニ、豫算モ既ニ議定サレテシマウシ、旁々之ニ對スル費用ハ僅カ一萬圓位アルガ、併ナガラ今日之ヲ此金ヲ出スニ付テ如何アラウカ、強チ無償配付ニ全然不同意ト云フ譯ナナイガ此點ニ付テハ何トモ申上兼ネルコトデアル、又モウツ云フテ置カナケレバナラヌハ大體異議ハナイケレドモ、本年ハ見合セテ置カナケレバナラヌ、豫算ノ都合モアル、其見合セテ置カナケレバナラヌト云フコトハ今一ツハ何デアルカト云フト、痘苗ノ不善感ト善感デ此痘苗ノ種類ニ依ツテ善ク感ズルノト、感ジノ惡ルイトニ種アルト云フコトハ今日掩フベカラザル事デアツテ、政府委員ノ辯明ニ依ルト傳染病研究所デ作ル所ノ痘苗ト云フモノハ多數傳デアツテ、今日デハ二百有餘傳ニ成ツテ居ルガ、隨分昨年ナドハ成績ガ良カタト云フコトデアル、ソレデ民間デ指ヘルモノハ極ク傳數ノ少イモノデ、漸ク四傳カ五傳クラ井ニ止マルノデアリマスガ、此感染ノ善惡ハハッキリ分ラヌト云フヤウナ御答ニアツタ、アツタガ民間ノ實際ニ從事シテ居ル多クノ醫者ノ報告、其他ノ報告ニ依リマスト傳染病研究所デ製シマスル「痘苗ハ民間デ今日製シテ居ル四傳カ五傳ノ痘苗ト比較シテ見マスノニドウシテモ多數傳ノ方ハ主モニ感ジガ惡イ、回數ノ少イ方が感ジガ宜イト云フコトハ、一般ノ事實デアルト云フコトハ吾々モ認メテ居ル、直接吾々其事ニ從事シテ確信シテ居ルノデス、ソレガタメ政府委員ニ傳染病研究所デハ此比較試験ヲシテ居ルカ、或ハシタカト云フコトハ居ル、此シタト云フ答デアル、併シ是ハ私ハ當ニナラヌ、政府委員ノ云フコトガ何ニ依ツテスルカ、他ノ動物ニ依ツテ比較試験シテ居ルカモ知レヌガ、傳染病研究所カラ今出ス痘苗ハ總ニ二百傳以上ト云フ割合デ、最初ヤリ始メテ今日迄ヤツテ居ル品デアツテ、其他三人類ノ生體ニ向ツテ五傳ヤ三傳ノ痘苗ヲ他ニ二百傳以上ノモノト比較シテ、ドチラガ感ジガ宜イカト云フコトハ見タト云フコトハ、私ハマダ聞カヌ事デアルカラ、或ハサウニ云フ事ハナサラスカト思フ、又過日モ同業者ノ貴族院議員ニ會ツタ場合ガアツタ、此人ノ說ニ據リマスト内務省ハ傳染病研究所デ命令スル權ガアリ、監督スル權ガアルニモ拘ラズ、命令的ニ比較サセルコトが出來ナイ彼處ハ治外法權ノヤウナ具合ニナツテ居ルノデアルカラ、幾ラ内務省デ言フテモ、向フハ向フデ宜イシテ確信シテ居ルカラ、決シテ内務省ニ云フヤウニ比較試験ヲスル氣遣ハナイト云フコトヲ言ハレタノデアル、併シ是ハ其貴族院議員ノ自己ノ考デアルカラ、其眞偽ハ信用ハセヌノデアリマスガ、此際ドウシテモ一年間位ハ此民間デ指ヘル回數ノ少ナイコロノ痘苗ト、又回數ノ多イ傳染病研究所デ製造スルガ如キ痘苗ヲ、民間ニ於テ實物ニ當ツテ一ツ比較試験ヲシテ見ルノモ、將來ニ於ケル痘苗製造上ニ於ケル學術上ノ經驗ノタメニモ、頗ル裨益アルコト思ヒマス、此一個ノ理由ニ依ツテ先づ本年ダケハ此無償

○山根正次君 東條君ニ御尋シマスガ、民間ニ於ケルモノハ無償配付が出來ル以上

政府ニ買上ケセル積リデアルカ如何デスカ

○東條良平君

ソレハ無論デス

○山根正次君

私ハ昨年ノ此痘瘡ノ流行ノ際ニ質問シタコトガアル、ドウ云フコトデアルカト云フト、ドウモ此痘苗製造所卽チ傳染病研究所ニ於ケル所ノ痘苗ノ製造が甚

ダ不足デアッテ、各縣皆困シタノデアル、ソレデアルガ故ニ今少シ彼處ノ規摸ヲ大キクスル

必要ハナイカ、或ハ牛ヲ餘計飼フテ置ク

必要が平素ニ於テナイカト云フコトヲ質問シタラ、今日テ十分デアル、日本ノ何ニ配付スルニハ今日テ十分デアルト云フ御答ヘテアッタ、自

分ハ好意的ニ若シ足ラストキニハ金デモ出シタイト云フヤウナ考デ

何シタノデアル、ケレドモサウ云フヤウナ御答ヘテアルカラ政府ノ方テハモウ此上ハイラヌト云フヤウナ御考デアッタ

ト私ハ信ズルニアリマス、サウシテ私ハ此際ニ於テ傳染病ノ豫防即チ、痘瘡ヲ豫防スル上ニ於テハ種痘ヨリ好イモノハナイノデアリマス、是が十分行ハレルト云フコトヲ希望スル、或ハ此無償配付スルト云フコトモ宜イカモ分リマセヌケレドモ、或ハ之ヲヤタメニ市町

村ニ於テ濫用スル氣味ハナイカ、今日ノ所ハ一具ニ付テ僅カ一錢五厘一人ニ對シテ五厘ハカニヤナツテ居ナイ、或ハ是ダケ位取テ政府ノ收入ニ之ヲ充テ、行クト云フ方ニナラ

ネバ政府ノ方ノ算盤ノ方ガ困ルヤウナコトハナイカ、尤モ是ハ僅ナコトデ傳染病流行ヲベ

ルニ代ヘレバ何デモナイコトハアリマスケレドモ、其邊ノトコロモ一體政府委員ノ方カラ能ク御答ニナツタ上デ、私ハ或ハ贊成ヲスルコトモアリマセウガ、之ヲ能ク確メヌ以上ハ漫リニ無償配付ト云フコトハドウデアラウカト思ヒマス、尤モ無償配付ト云フコトニナッタラ民間ノモノハ買上ケラレバヌト思ヒマス、併ナガラ今東條君が言ハレルヤウニ研究所ノモノヨリハ民間ノモノガ宜イト云フコトヲ一般ノ醫者ガ言シテ居ルト云フ、場合ニ依シテハ民間ノ方針ニ向シテ政府ノ方が進ンテ行クカ、或ハ研究所ノ今日ノ議論ノ如ク何デモ決シテ氣遣ハナイト云フ議論ノ政府ハ執ツテ行クカ、其邊ハ如何ナモノニアラウカ、其邊ハ十分分確メナケレバナラヌ、折角無償トシテ試験ヲシタ上ナラバ直グ分ルケレドモ試験ヲセヌ中ニ政府ノ方デハ梅野君ノ何ヲ良イト云フコトヲ十分發表シテ居ルノデア

ル、尤モ東京ニ於テノ昨年ノ結果ハ決シテ惡イコトハナカツタ、是ダケハ私共モ皆市デヤウテ能ク研究所ノモノモ感傳シテ居ルト云フコトヲ、私ハ信シテ居ルノデアリマス

○東條良平君

チヨット委員長ノ先刻ノ御確メニナツタコトデ一應補足シテ置カウト思ヒマスガ、私ノ申シタ中ニ末ノ方ニ優勝劣敗ト云フコトヲ委員長が仰シタカ少シ意味ガ同シヤウデアリマスガ、實ハ是ニハ違フ意味ガアリマス、此回數ノ多クナツタ所ノ痘苗ト回數ノ少イ痘苗ト比較スル上ニ於テハ、政府ノモノヲ特ニ安ク賣ルト云フノハ民

間デ一民業デ拵ヘル回數ノ少ナイト比較スルト大分不便デアル、又民間ノ事業ニ對シテ政府が競争スルノモ面白クナイ、此間ニハ成ルベク價格ノ平均ヲ保ツテ貴ヒタイ、

ト思ヒマス、私ハ唯今單ニ無償配附フシャウト云フノデハナイ、延ベル意味ハ山根君トドチラガ宜イカト云フコトヲ比較スルタメニ一年延ヘテ試験シヤウト云フノガ、内容ノ要素ニナツテ居リマス

○森田俊左久君 唯今ノ東條君ノ御説デアリマスガ、此無償配附ト云フコトニハ私ハ

反対デアリマス、其反対スル理由ヲ申シマスト、痘病豫防種痘ノ費用ハ何カト云フト、町村ガ負擔スルコトニナツテ居ル、敢テ個人ガ此法律ノタメニ非常ナル金ヲ餘計ニ費ス

譯ニナツテ居ラナイノデアル、ソレデ此費用ニ付テハ殆ド國若クハ村公共團體等が負擔

モシテ居ルノデ、敢テ苦痛ハ感シナ、又製造費ガ二万圓トカ云フ話ガアリマシタガ、是

モ政府ガハキリ收入ノ點ニ於テハ、チヨット豫算ヲ見ルトコロガ七八万圓ト云フモノハ收

入ニナツテ居ル、是マデノ經歷ニ依ルト研究所ガ調べタモノハ、是ハ吾々モ實際扱ツテ居

リマスガ、是ハ十分デナイ、ドウシテモ純痘苗ヨリ再痘苗ノ方ガ結果ガ良イト云フヤウ

モナツテ居リマス、今はヲ無償ニスルト云フコトニナレバ、政府ハドウシテモ純痘苗ト云フ

モノヲ配布スル、今ノ種痘製造所ト云フモノガアル限りハ、スルニ達ヒナ、又スルノハ當

リ前デアルト思フ、ソレテ東條君ノ御説ノ通り試験ノ結果、良イモノニアレバト云フ條件

ガ附イテ居リマスガ、今モ公言シテ居ルノデアル、純痘苗ノ方ガ宜シ、再歸苗ノ方ガ惡

モノヲコトヲ言ウテ居ル、此上試験ヲシテ見タコロガヤハリ自説ヲ主張スルニ違ヒナイ

ト思フ、寧ロ現今ノ通り民間ノ製造ト或ハ製造所デヤツテ居ルト、需用者ノ好ミニ依テ

ヤル方が宜カラウ、ソレデ無償配布ト云フコトハ此場合ニ於テスベキモノアナイト云フコトヲ信ジマスカラ、私ハ反対ノ意見ダケヲ申上ゲテ置キマス

○委員長（長晴登君） チヨット諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、森田君ノ御反対ニナルコトバ、今私が東條サンニ御確メ申シタ所ニ依テ述ベレバ、政

府ガ自分ノ研究ノモノヲヤルニ相違ナ、サウスレバ往カヌカラト云フ御説ガアリマシタ、ソ

レテ研究スルトシナイトハ別デアルガ、此時期ニ於テ御決議ヲ御願ヒスル譯デアリマセヌ、

森田君ノ御説ナツタ所ハ東條君モ同ジク憂ヘラレテ居ルト云フコトダケヲ、添ヘテ申上ゲ

テ置キマス

○政府委員（窪田靜太郎君） 東條君ノ御論旨ノ中ニ、政府委員ハ研究シテ居ルト

云フケレドモ、ドウデアラウカト云フ御説デアリマシタコトデ、此事ハチヨット辯シテ置キタ

イト思フ、傳染病研究所ニ於キマシテハ、豫テ東京市内ニ出張所ヲ設ケテ置キマシテ、此

處ニ常ニ種痘ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、此際ニ研究ヲ致スト云フコトハ決シテ困難ナコ

トデヤナイノデアリマス、ノミナラズ此研究所カラ賣出シマス所ノ痘苗ニ付キマシテハ、出來

ル毎ニ各々採種致シテ賣出シ、殊ニ其採種シタモノ、兒童ニ着ク其結果ヲ見マシテ、サウ

シテ能ク著クト云フコトヲ確メタ上ニ賣出スト云フコトニシテアリマスカラ、十分念モ入レ

テ講究モ致シテ居ルノデアリマス、デ一言其事ヲ御辯明致シテ置クガ宜カラウト思ヒマス

○委員長（長晴登君） ソレデハ逐條ハ濟ミマシタ付キマシテハ、大體ニ付テ尙ホ修正

モシ、若クハ御意見漏レ等モアツタナラ承ルコトニ致シマシテ、私カラ修正ノコトニ付テ

申上ゲテ御同意ヲ得ヤウト思ヒマス、此十五條ヲ削除シタル結果、十六條ハ十五條ニ

繰上ゲマシテ以下ノ各條ガ一條ヅ、繰上ルノハ自然ノ勢デアリマス、左様御承知ヲ願ヒ

マス、第二十一條卽チ繰上ゲタル二十條ニ對シテ「官廳公署及官立公立ノ學校等ニ

於テハ第三條第一項及第四條第一項乃至第三項及十五條ノ規定ニ準シ其措置ヲ

爲スヘシ」ト云フ文竇ノ中ニ既ニ第十五條ハ削除セラレテアルカラ「第十五條」ト云フ字

ハ拔カナケレバナラヌ、隨ツテ文面ノ上ニ於テモ「第三條第一項第四條第一項乃至第

三項」トアル後ノ「第十五條」ノ四字ヲ削ツテ「第三條第一項」ト「第四條第一項」トノ

間ニ及ト云フ字ヲ入レルノハ、法文上は自然ノ結果ト思ヒマス、ソレデハ其通り確

定シテ宜シウゴザイマスカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○委員長（長晴登君） ソレデハ是ニテ散會致シマス

午後三時五十九分散會